



ONE ROOF

～ ONE ROOF ～

「大きなおうち」を受け継ぎながら、子どもたちも職員も地域の皆さんも、みんながひとつ屋根の下で笑い、ひとつになり、そして成長して、未来を作り出す力を育んでいこうという思いを込めています。

おうちだより

令和3年9月

社会福祉法人 東京児童協会

葛西大きなおうち保育園

〒134-0083 江戸川区中葛西 2-26-6

TEL 5878-0888 FAX 5878-0887

夏は終わりに近づき、気候は秋へ向かい始めています。日中はまだ暑さが続いているので水遊びを充実させながら季節ならではの活動を楽しんでいます。

各保育室の環境も棚の配置を変更するなどしてより良く遊べるようにしています。幼児クラスもフリースペースの空間にコーナーを設定して子どもたちが室内で分散をして過ごせるようにしています。これからの季節は戸外遊びも増えてくると思いますが、室内での遊びも充実させながら子ども達の成長にとってより良い環境作りをしていきたいと思っています。

コロナ感染症での休園期間中に関して、各家庭の皆様にはご協力をいただきありがとうございました。罹患者が発生した際の保護者への情報提供では保育園として伝えられる範囲に限られているため、聞かれたことに関してお答えできずにご不便に感じていた方もいたと思います。その点に関しましては個人情報の保護の観点から保育園と区としての決まりでもありますのでご理解いただけたらと思います。

区内の感染状況がひどくなり罹患者も急激に増えています。引き続き感染予防対策をしながら保育園は運営していきますので、ご家庭でも体調管理等よろしくをお願いします。

また、家族が検査を受ける際や少しでもいつもと違う様子がある際は保育園にお伝えしていただければと思います。

9月は防災の日、救急の日がありますね。子どもたちは月に一度「もし地震が起きたら」「もし火災が起きたら」を想定しながら避難訓練をしています。訓練時は職員の声も飛び交うので子どもたちは雰囲気を感じ、真剣に取り組んでいます。実際に3・11の震災の日の子供達は保護者の顔を見るまで不安そうにしていました。その時に私自身を含め子どもの側で保育士たちは子どもを安心させるために手遊びや紙芝居、歌あそびなどをし、栄養士や看護師、事務の職員は子ども達に寄り添い子ども達を守りながら保護者のお迎えを待ちました。表情が緊張していた子ども達にも少しずつ笑顔が戻り、いつもとは違う時間を子どもながらに過ごしていたのを覚えています。

保護者に伝わりにくいことも多々あるかと思いますが、職員たちがどのように保育をしているのかもクラス投稿や連絡帳では見えないものもあると思いますが、職員一同、保護者に伝わる工夫をしながら、安心・安全な保育を意識し運営をしてまいりたいと思います。

※今月は休園期間もあったため、子ども達の様子は写真でお伝えさせていただきます。

9月予定

1日(水)	…	引き取り訓練	6日(月)・24日(金)	…	0歳児健診
9日(木)・10日(金)	…	身体測定	14日(火)	…	避難訓練
15日(水)	…	誕生会	18日(土)	…	運動会

暑い日が続いていますが、体調を崩すことなくみんなが毎日登園してきてくれることをとても嬉しく感じています。これから、残暑が続き、それを過ぎると秋に向けて朝晩の寒暖差が大きくなることが予想され、体調を崩しやすくなります。

休園期間中が長かったことや外出自粛などによって、子どもたちは暑さへの順応がうまくできないことがあります。熱中症にも注意しましょう。

また、江戸川区の新型コロナウイルス感染症も毎日約300人ペースで増えています。園でも感染症対策は行っていますが、体調が思わしくない時やいつもと様子が違う時には、登園は控えていただくようご協力をお願い致します。

防災週間（8月30日～9月5日）

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。

もしもの時に備え、災害用の持ち出しリュックを用意しておきましょう。

今もしも、災害が発生して避難所に避難する必要がある場合には、新型コロナウイルス感染症の流行に対する対策も必要になります。

【持ち出しリュック】

- マスク
- アルコール消毒液
- 手洗い石鹸
- ウエットティッシュ
- 体温計
- 上履き(スリッパ)
- ゴミ袋
- 緊急薬がある方は予備のお薬も入れておきましょう。

【避難所で気を付けたいこと】

- 換気をしましょう
- 距離をとりましょう(マスクは必須)
- 会話は最小限にしましょう

実際に距離を取るの難しい場合には、背を向けて座る、段ボールで間仕切りをつけるなどの方法もあります！



AED（自動体外式除細動器）

おうちの近く、いつも遊んでいる公園の近くのAEDはどこにありますか？

もしも、必要になったときのために確認しておきましょう！

食育だより

～きれいに食べよう～

園での食事にも慣れ、食べることに意欲的な姿が見られるようになってきました。今月は、きれいに食べることや正しい食事マナー、食事の後片付けが身に付くように、食事中だけでなく、日常生活の中でも考えられる時間を設けています。

自分の喫食量を知る



自分で食べられる量を考え、完食することで達成感に繋がります。様々な種類の食材をバランスよく食べることの大切さも伝えていきます。

食後のテーブルをふりかえる

3～5歳児を対象に、自分の使った場所は自分で綺麗にする習慣を身に付けられるよう、各テーブルに台布巾や紙ナプキンを用意しています。テーブルの下まで確認してからごちそうさまが出来るように声を掛けています。

正しい食具の使用



指先の発達を促す遊びを通して、スプーンや箸の持ち方を学んでいます。

食具の持ち方が安定することで、お皿に残った食材をきれいに集めて、食べ残しが無くなっていきます。特に乳児は、食器の縁が立ち上がったものを使用し、器に手を添えて食べることを伝え、子ども自身で食べられるように工夫します。

2～3歳頃になると、手首の返しがしなやかになり、上手持ちから下手3点持ちになっていきます。

幼児はスプーンの3点持ちが安定してきた子どもから、箸の移行を進めていきます。



～お彼岸～



秋のお彼岸は秋分の日（9月23日）をはさんで前後3日間です。祝日法により秋分の日は、「祖先を敬い、亡くなった人々をしのぶ日」と定められています。お彼岸は仏教行事の一つで日本独自の行事です。日本では仏教が広まる前から、お彼岸の時期に祖先や自然に感謝する習慣があります。

おはぎに使用する小豆は秋頃に収穫されるため、収穫してすぐの小豆を使用して作られます。皮も柔らかく、香りもよいので、粒をいかして粒あんで食べます。園では、手作りのあんこを使用し、甘さ控えめで提供します。

～先月の様子～

～ピーマンの話～



～誕生会～



～クッキング～

